

甲文二十号

御雇教師増給ノ儀ニ付伺

當使御雇英學教師米入ア、チ、バーツ氏本年二月一日ヨリ七月三十一日迄ノ條約ニテ月給貳百圓ヲ以御雇入相成居候處生徒教育方格別勉勵稍進歩ノ生徒輩出致候ニ付八月一日ヨリ向一ケ年間雇繼ノ上同日ヨリ月給五拾圓定額金ヲ以増給致度候條御許容有之度此段奉伺候也

明治七年六月廿八日 開拓次官黒田清隆

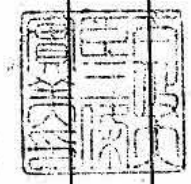
太政大臣三條實美殿

六月 二号

開拓使

伺之趣少不事
以少為方不共保より通達可
防事

明治七年七月八日



甲寅部 後三張

上州富岡嶋村兩所へ出張ノ義伺

養蚕ノ義ハ方今御國內產物中最モ至
要ノ者ニ有之候處當使管内ニ於テモ
專ラ施行ノ筈ニテ夫々着手致置候得
共未タ充實相成兼且今般屯田授産方
法等ノ都合モ有之候ニ付蚕印生糸ノ
製法ハ勿論桑苗培養等ニ至ルマテ實
地ノ景況精細取調ノ為上州富岡並島
村等其近傍蚕業繁栄ノ場所へ出張仕

六月

三号

月 石 吏